IEC 活動推進会議(IEC-APC)
IEC Activities Promotion Committee of Japan
APC ニュース第 181 号

2019 年 IEC トーマス・エジソン賞を受賞して

IEC TC 91 国際幹事
株式会社日立製作所
岡本 正英

2019 年 10 月に IEC 大会が中国の上海で開催されました。10 月 21 日に開催された標準管理評議会（SMB: Standardization Management Board）において、SMB 議長（IEC 副会長）の Dr. Ralph Sporer 氏から 2019 年 IEC Thomas A. Edison Award を拝受いたしました。

《左：Sporer SMB 議長、右：岡本 TC91 国際幹事》

このような権威のある賞をいただき大変光栄に思います。この賞は 2010 年に創設され、IEC の委員会の国際議長や国際幹事等のうち、委員会の効率的な運営を通じて顕著な成果を挙げた人物や、IEC に献身的なサービスや顕著な貢献をした人物に与えられるものです。今年は 4 名が受賞しました。小職の受賞は TC 91（電子実装技術）の国際幹事としての貢献が評価されたものです。これも、ひとえに TC 91 国内委員会、経済産業省 国際電気標準課、国内審議団体である（一社）電子情報技術産業協会、そして IEC-APC 事務局の皆様のご支援、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

TC 91 は日本提案により 1990 年に設立後、2000 年には旧 TC 52（プリント回路）を、2012 年には旧 TC 93（デザインオートメーション）を統合して、現在では 13 の WG を有する、IEC の中でも大きな TC の 1 つです。また基盤技術 TC ですので、関連する TC/SC も IEC のみならず、ISO、ISO/IEC JTC 1 など、非常に多岐にわたっています。

同時開発中の規格数も多く、個々の規格の開発スピードは決して速いものではありませんでした。私が 2013 年 1 月に国際幹事に就任後しばらくは、Target Date を延期せざるをえないプロジェクト数が非常に多く、SMB 対応委員会に呼び出され、弁明を余儀なくされた程です。これを改善するために、規格案文書の回覧結果（コメント、修正案）をプロジェクトリーダ、WG コンビーナに即日配信すると同時に、回覧結果に基づく最適な次の対応案も提案するようにしました。結果によっては、CD スキップ、FDIS スキップも提案し、規格開発を加速しました。また以前は、一部の P メンバ（参加国）と幹事国の間の信頼関係不足も見受けられました。これに関しても、P メンバ代表者と地道にコミュニ―ケーションを継続し、誠実な対応を繰り返すことにより、国際

幹事として一応の信頼を得られ、以後、規格開発もスムースに進むようになりました。

これらの結果として、遅延プロジェクト数も以前は常に 10 を下らなかったのですが、2016 年からはほぼゼロの状態まで改善しました。またその効果として、2013～2018 年の 6 年間で、80 の規格類の発行（うち日本提案 39）、32 の新規提案（うち日本 12）を行うことができました。これは年間あたりで従前のほぼ 2 倍に相当します。特に 2015 年には 20 の規格類を発行し、IEC の全 174TC/SC 中 6 位、新規提案数は 7 で、こちらは 5 位でした。

TC 91 の戦略ビジネスプランは、時代の変化に応じて定期的に見直す必要があります。プロアクティブな活動としては、この戦略ビジネスプランを協議する AG（Advisory Group）16（標準化戦略）を 2014 年に立上げました。また同年、電子実装技術に関連する他の 3 つの TC/SC と共に、Liaison Coordination Group を IEC の中で初めて設立し、関連 TC/SC とのコンフリクトの事前防止にも努めてまいりました。さらには、

・同じく定期的な見直しが必要な TC 91 のパブリケーションプランの 7 年ぶりの見直し

・国際議長交代に伴う、国際議長、国際副議長の国際調整による選任・任命

・規格開発前段階の情報交換の場として、日米欧韓中で実装関連の最新トピックス紹介を行う Jisso International Council を 2017 年に復活

・TC 91 メンバの目標設定、標準化活動活性化のために、TC 91 の国際標準化活動のアクティビティを IEC 中央事務局統計部門の協力により数値化・見える化

・TC 91 国際標準化活動の普及・啓発のために、実装関連国際会議の招待講演での TC 91 国際標準化活動の紹介

等を実行してきました。

今後も、IEC のさらなる発展に微力ながら尽力していく所存ですので、引き続き皆様からのご指導ご鞭撻を頂戴いたしたく何卒よろしくお願い申し上げます。

参考：IEC ホームページ「IEC Thomas A. Edison Award Recipients 2019」

http://www.iec.ch/about/awards/thomasedison/thomas_edison_recipients.htm